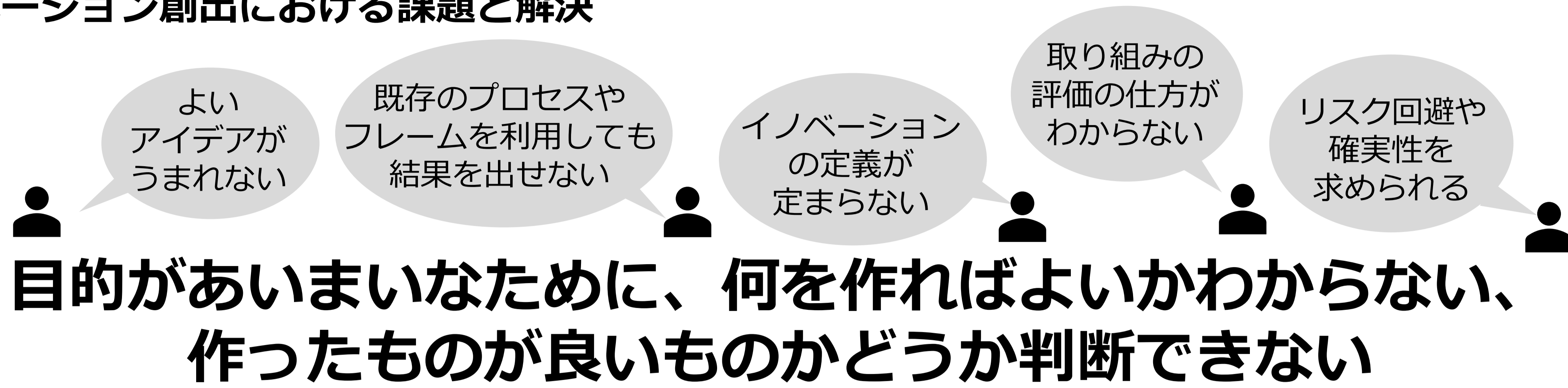


イノベーション創出につながるアウトカム設定

竹中 薫、高橋 祥、田平 博嗣（株式会社 U'eyes Design デザイニング・アウトカムズ研究所）

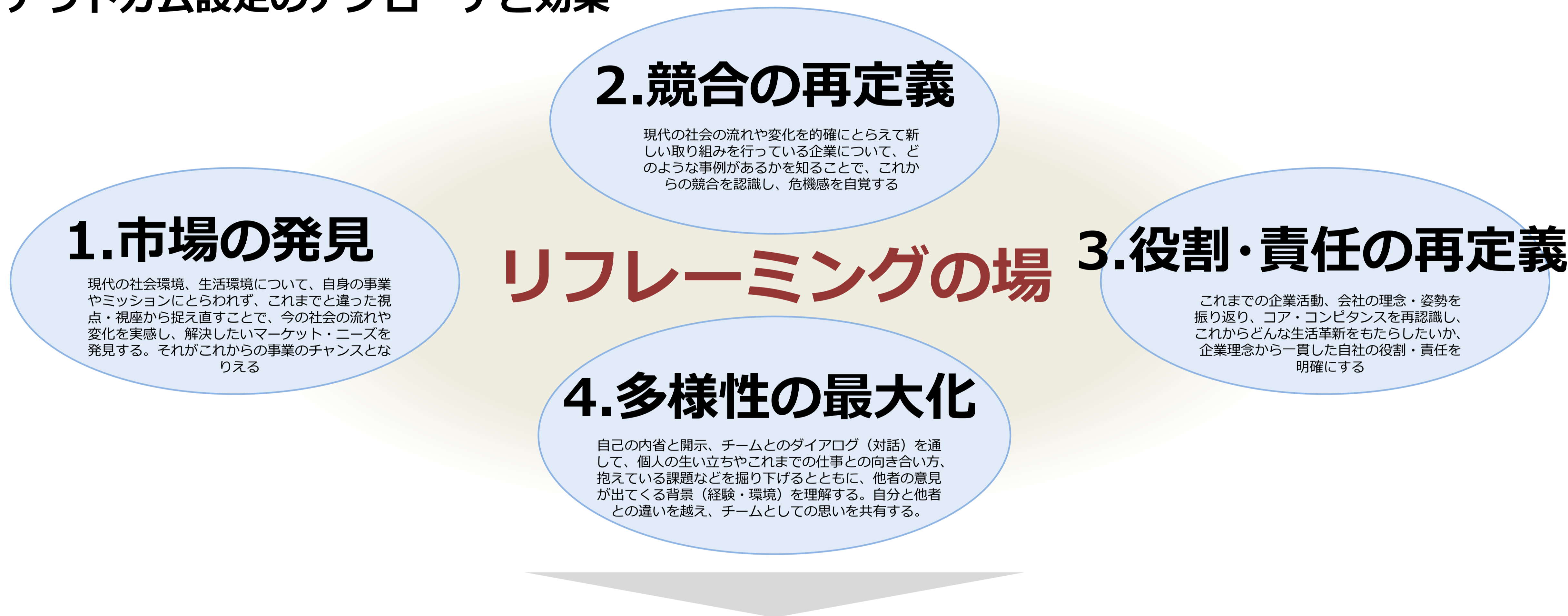
1. イノベーション創出における課題と解決



アウトカム※を設定し、デザイン思考で取り組むことがイノベーション創出につながる！

※アウトカムとは、研究がもたらす本質的な成果のことを指す。論文や特許の数といった外形的なものではなく、実際に社会にどんな影響を与えたかを評価すべきだという考えから、医療・学術分野で注目される。アウトカムデザインでは、『生活者のあるべき未来の姿』を示す。

2. アウトカム設定のアプローチと効果



アウトカムを設定する

= 生活者のあるべき姿を描くことで、進むべき方向性が明確になる

実行する人のアクセラを強化する効果

- **個人の能力の効果的な活用** 自分のやりがいを見出せるテーマと会社としての取り組みをリンクさせてゴールに据えることで、個々の持ち味を効果的に引き出す
- **情報感度UP** テーマを明確にすることで、選択的注意を喚起し、情報を引き寄せる力を強化する。それをチームで取り組むことで、効果が増幅される
- **アイデアへの固着を防ぐ** アウトカムの実現を目的とすることで、その過程で生まれる個々のアイデアに固着せず、先を見た取り組みができるようになる

判断する人のブレーキを緩める効果

- **断れない理由** 時代・環境・価値観の変化と競合の取り組みから、新規事業の必然性を共有し、危機感を認識する。そこに企業理念に沿った取り組みを提示し、受け入れられやすい状況をつくる
- **継続可能な環境** 『生活者のあるべき姿に導いているか』という上位の目的に対しての成果を目標に据えることで、個々のアイデアの短期的な成果や上司の好みで判断されることなく、取り組みを継続できる環境を整える

イノベーション創出